



2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年6月14日

上場会社名 株式会社Mマート 上場取引所 東
 コード番号 4380 URL https://www.m-mart.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)村橋 純雄
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)河合 弘一 (TEL) (03) 6811-0124
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第1四半期の業績(2021年2月1日~2021年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	219	22.8	67	120.3	68	120.8	46	129.2
2021年1月期第1四半期	178	5.1	30	△20.8	30	△21.3	20	△25.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	9.56	—
2021年1月期第1四半期	4.17	—

(注)当社は、2020年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第1四半期	1,434	972	67.8
2021年1月期	1,402	974	69.5

(参考)自己資本 2022年1月期第1四半期 972百万円 2021年1月期 974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年1月期	—				
2022年1月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の業績予想(2021年2月1日~2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	901	15.9	186	4.9	186	4.8	123	3.4	25.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期1Q	4,890,800株	2021年1月期	4,890,800株
② 期末自己株式数	2022年1月期1Q	265株	2021年1月期	265株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期1Q	4,890,535株	2021年1月期1Q	4,890,670株

(注) 当社は、2020年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しているため、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)における世界経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗期待や、米国等の大規模な財政出動や金融緩和の継続もあり、米国や中国を中心に回復傾向が鮮明となりました。

一方、ワクチン接種が遅れている国内においては、新型コロナウイルスの感染拡大の継続による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令等で、個人消費が低迷したこともあり、内閣府発表の2021年1～3月期の実質GDP速報値は、前期比年率5.1%減と3四半期ぶりのマイナス成長となりました。また、日銀発表の3月短観では、大企業製造業の業況判断指数がコロナウイルス感染拡大前の水準を回復する一方で、大企業非製造業の業況判断指数の改善幅は小さく、二極化の様相が強まりました。

このような事業環境のもと、正常な流通促進を使命とするMマートは、コロナ禍による飲食店の休業等により、高品質にもかかわらず、予想外の在庫に悩む卸売業者の余剰在庫商品を短期間で代金決済し、事業存続のための「手元流動性」を確保することが出来る「即金・即売市場」を、昨年より継続して開設いたしました。また、買い手企業の規模により異なる様々なニーズに応えるために、当社はあらゆる規模のユーザーにとって魅力的な市場となるようサービスの改善強化に努めてまいりました。

こうした中、当第1四半期末における出店数は、営業員の戦力化が順調に進んだことに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止で緊急事態宣言などが発令され、リアルの取引が困難となる中、インターネット取引へのニーズが高まったこともあり、出店型のマーケットプレイス市場であります「Mマート(食材を取扱う市場)」は1,051店(対前年同月比77店増)、「Bnet(食材以外を取扱う市場)」も494店(同207店増)と順調に増加しました。

また、第1四半期末における買い手会員数は、176千社(対前年同月比14千社増)と増加しました。新規の買い手会員数は、インターネット取引へのニーズの高まりもあり、毎月1千社程度の増加が続いています。

なお、第1四半期の総流通高も、1,556百万円(対前年同期比364百万円増)と増加しました。食材関連では、コロナ禍の影響で飲食店やホテル・旅館向け流通高の回復は緩やかなものの、スーパー・弁当宅配業者向けの流通高は継続して増加しています。食材以外にも、環境衛生用品(マスク・手袋・消毒液等)や飛沫防止用アクリル板、デリバリー容器等の流通高の増加が継続しているうえ、食器類の流通高も徐々に回復しています。

以上の結果、当第1四半期累計期間の営業収益は、出店型サイト「Mマート」や「Bnet」の伸びを主因に、219,612千円(前年同期比22.8%増)となりました。一方、利益面では、人員増に伴う人件費が増加したものの、営業利益は67,960千円(前年同期比120.3%増)、経常利益68,266千円(前年同期比120.8%増)、四半期純利益は46,762千円(前年同期比129.2%増)となりました。

なお、セグメントの業績は、セグメント情報を記載していないため省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末の総資産は1,434,578千円となり、前事業年度末に比べて31,936千円の増加となりました。これは主に、売掛金が2,451千円増加、営業未収入金が39,109千円増加したものの、現金及び預金が8,521千円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債につきましては461,723千円となり、前事業年度末に比べ34,078千円増加しました。これは主に、営業未払金が39,109千円増加、その他(預り金)が20,350千円増加したものの、未払法人税等が17,190千円減少、その他(未払消費税等)が8,865千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産につきましては972,854千円となり、前事業年度末に比べ2,142千円減少しました。これは主に、利益剰余金につきまして四半期純利益を46,762千円計上したものの、配当を48,905千円支払ったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期の業績予想につきましては、2021年3月17日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しているため、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,184,783	1,176,261
売掛金	22,071	24,522
営業未収入金	113,122	152,231
その他	10,882	10,432
貸倒引当金	△4,195	△4,249
流動資産合計	1,326,663	1,359,199
固定資産		
有形固定資産	9,464	9,152
無形固定資産	357	338
投資その他の資産		
敷金及び保証金	57,618	57,349
その他	8,538	8,538
投資その他の資産合計	66,156	65,888
固定資産合計	75,978	75,379
資産合計	1,402,642	1,434,578
負債の部		
流動負債		
営業未払金	113,122	152,231
ポイント引当金	5,861	5,781
未払法人税等	41,114	23,924
その他	267,546	279,785
流動負債合計	427,644	461,723
負債合計	427,644	461,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,619	318,619
資本剰余金	260,782	260,782
利益剰余金	395,889	393,746
自己株式	△293	△293
株主資本合計	974,997	972,854
純資産合計	974,997	972,854
負債純資産合計	1,402,642	1,434,578

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年2月1日 至2020年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自2021年2月1日 至2021年4月30日)
営業収益	178,850	219,612
営業費用	148,001	151,651
営業利益	30,849	67,960
営業外収益		
受取利息	4	5
助成金収入	-	300
その他	63	1
営業外収益合計	67	306
営業外費用		
その他	5	0
営業外費用合計	5	0
経常利益	30,911	68,266
税引前四半期純利益	30,911	68,266
法人税、住民税及び事業税	10,510	21,504
法人税等合計	10,510	21,504
四半期純利益	20,401	46,762

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません